

何も何も 小さきものは 皆うつくし 枕草子「うつくしきもの」より



6月に入り、昨年度までの慌たしい6月とは少し違った風景が広がります。文化祭を7月に移動したことや定期テストの回数見直しにより若干の余裕も生まれています。本日から1回目の考査。2ヶ月の学習の成果を發揮した振り返りながら、次に続く学習の方向性を見出していきましょう。1月からのNHK大河ドラマ「光る君へ」にはまっています。学生時代もっと勉強しておけばよかった・・・と、「枕草子」のことばの美しさや平安時代の書の美など、私の「美しきもの」を求める心が騒いでいます。上記は、枕草子のうつくしきものの章段からの一文です。現代訳すれば「**小さいものはみんな可愛い！**」というもの。清少納言は小さく幼いものに対して可愛いと感じる気持ちを、雀の子が(人が)ねずみの鳴きまねをすると、おどるよにやってくる など稚児の可愛い様子を全部で15個?あげていますね。言葉の紡ぎが実に美しく、また今の「私」に置き換えると、高校生の姿が1つ1つとおしくうつくしいことを、あらためて感じるのです。蟻高生の、一瞬の輝きを見落とさず応援したいと思います。1日は**中信地区高等学校写真展**を鑑賞しました。本校生徒の作品は視点が素晴らしく、奥行きや立体感、また空間認知の力が光ってるなと感じたところ、なんと**3年生 篠井さんの作品が最優秀賞を受賞!**私の目に狂いはなかった!と感激です。1日は**吹奏楽班定期演奏会**(残念ながら聞くことができず)大盛況のなか感動と勇気もらった という多くの声をいただきました。同日、**令和6年度同窓会総会**。アトラクションとして同窓生の皆さんを前に**ダンス部の発表**。美しくはつらつとした演技に同窓生の皆さんは「後輩」の凛とした姿を誉めていらっしゃいました。5日は**芸術鑑賞**。演劇の世界を会場の空気感を肌で感じ、味わいました。背中を押された生徒も多かったのではと感じます。あらためて「経験する」ことの重要性を感じます。8日~9日に行われた**NHK杯放送コンテスト県大会**において、**放送部が全国大会出場を多数(ラジオドキュメント部門、アナウンス部門3人、朗読部門2人)決めました!**この人数が全国に推薦されることは快挙!ソフトテニス部インターハイ出場はじめほかの部活も精一杯の闘いの成果がみられ、嬉しい限りです。8日は**中信地区合同音楽会**。吹奏楽部、合唱部、室内楽部の美しい音色が会場に響きました。最後は会場の皆さんと全員合唱「コスモス」。♪時の流れにうまれたものなら 一人残らず幸せになれるはず...良い歌詞です(;v;) ようやく、大合唱ができるようになったポストコロナ時代! 蟻高生、感動をありがとう!

